

平成 30 年度(平成 29 年度実績)

**十日町市教育委員会
事務の管理・執行状況 点検・評価報告書**

平成30年8月

十日町市教育委員会

目 次

| | | |
|---|---------------------------------|----|
| 1 | 学校教育の充実 <学校教育課> | |
| | ① 学力の向上 | 1 |
| | ② 不登校児童生徒の減少 | 2 |
| | ③ 特別支援教育の充実 | 3 |
| 2 | 教育環境の整備推進 <教育総務課> | |
| | ① 子どもたちの「望ましい教育環境」整備の推進 | 4 |
| | ② 学校施設耐震化の推進 | 5 |
| 3 | 生涯学習の推進 <生涯学習課> | |
| | ① 市民文化ホール・中央公民館の建設 | 6 |
| | ② 里山科学館としての企画展示・体験イベントの推進（キョロロ） | 7 |
| 4 | 公民館活動の推進 <公民館> | |
| | ① 地域全体で子どもを育てる環境づくりの推進 | 8 |
| 5 | 情報館活動の推進 <情報館> | |
| | ① 図書館サービスの充実 | 9 |
| 6 | 文化財の保護と活用 <文化財課> | |
| | ① 埋蔵文化財の保護と活用 | 10 |
| | ② 地域文化財の保護と活用 | 11 |
| 7 | 博物館事業の推進 <博物館> | |
| | ① 博物館の建設と活用 | 12 |
| | ② 博物館収蔵資料の保存と活用 | 13 |
| 8 | スポーツの振興 <スポーツ振興課> | |
| | (1) スポーツ振興事業の推進 | |
| | ① 身近な地域におけるスポーツ振興事業とスポーツ交流の推進 | 14 |
| | ② 競技力向上のための外部指導者の活用と競技団体指導者育成 | 15 |
| | (2) スポーツ施設の管理と整備 | 16 |
| 9 | 教育委員会の活動 | |
| | ① 教育委員会の開催 | 17 |
| | ② その他の活動 | 19 |
| | (資料) (評価委員名簿、開催日等) | 20 |

1 学校教育の充実

| | |
|------------------------|--|
| <p>項 目</p> | <p>①学力の向上</p> |
| <p>平成29年度 重点目標</p> | <p>1 市教育センターを中核にした教職員の研修体制を確立し、教職員の指導力向上を図る。 2 児童生徒の学習支援を進めるシステムづくりや運営に努める。 ■平成32年度のNRTにおける、全学年・全教科の平均標準偏差値 小学校：53.0以上、中学校：50.0以上</p> |
| <p>取組の状況</p> | <p>1 教職員の指導力向上事業 新学習指導要領の実施に向けた研修内容に主眼を置き、学校訪問による授業改善に向けた指導。若手教員サポート事業での指導支援。授業力向上研修などによる指導技術の普及を行った。 2 学力向上事業 各種寺子屋塾事業を継続し、学習意欲の向上を図った。 3 英語教育推進事業 イングリッシュキャンプなどの事業、まつのやまE+タイムの支援等を継続。学力向上専門監事業やハブスクール事業等と連携した研修、小学校外国語教育移行措置に係る研修を実施し、教職員の指導力の向上を図った。</p> |
| <p>結果・成果</p> | <p>1 NRT教研式全国標準学力検査（H29.4月実施） 教科総合偏差値が小学校で52.6、中学校で50.5となり、前年度に比べ小学校で0.4ポイント低下、中学校で0.3ポイント上昇した。 2 全国学力・学習状況調査（H29.4月実施） 全国平均正答率は小学校国語Aが同等、国語B、算数A・Bで下回った。中学校国語A・B、数学Bは同等、数学Aで4ポイント以上上回った。家庭学習時間は、初めて中学生が小学生を上回った。質問紙調査から小学生のテレビ、ゲーム等の時間が正答率に影響していることが明らかになり、PTAと連携した取組を開始した。</p> |
| <p>課題・改善策</p> | <p>小中一貫教育の共通取組事項「自己有用感の向上」に従い、授業づくりの土台となる人間関係づくりや集団づくりを中心に学校訪問による指導・支援、若手教員への指導・支援を実施する。 小学校外国語教育の移行措置、小中学校の道徳教科化に向け、新学習指導要領の実施に向けた研修、情報提供を継続していく。</p> |

評価委員会の評価・意見等

学力レベルの向上には、専門監事業の効果があったと思う。事業が終わっても効果を検証し引き続き指導を検討してほしい。

1 学校教育の充実

| | |
|----------------|--|
| 項 目 | ②不登校児童生徒の減少 |
| 平成29年度 重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 不登校児童生徒に対する初期対応と個に応じた指導を徹底する。 2 関係機関との連携した取組を行い、児童生徒の自立支援を行う。 |
| 取組の状況 | <ol style="list-style-type: none"> 1 小中一貫教育のよさを生かし、中1ギャップ解消に向けて、小中連携の取組を行った。(小中交流活動、小中合同による行事、授業交流や部活動体験等) 2 不登校対応嘱託指導主事と県事業不登校対応専任教員が連携して主に中学校を訪問し、学校に対し不登校対応のあり方を継続的に指導・助言した。 3 年間を通じた不登校対策研修会を実施し、各校の取組の成果と課題を共有し、初期対応と個に応じた指導を強化した。 4 既に不登校の児童生徒には、学校からの継続した指導と共に、市の適応指導教室、医療機関、児童相談所等の関係機関と連携し、自立支援を行った。 5 教育センター相談員が中学校区単位で学校を訪問し、保護者や学校職員の相談を受け、小中で抱える不登校の課題を共有した。 |
| 結果・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 29年度の不登校人数は前年度比で小学校が9人増加して15人(0.60%)、中学校が12人減少して51人(4.09%)であった。中学校は改善傾向にあるが、小学校が心配な状況にある。 2 小学校6年時「中学校に行くのが不安はなく楽しみ」とする肯定的回答が2割だったが、中学校入学後は5割を超える子が肯定的回答をした。今後も小中連携の取組の充実を図っていく。 3 市の適応指導教室に通級して指導を受けた児童生徒において、学校復帰できた子どもの割合が増加した。引き続き、学校復帰への支援を継続していく。 |
| 課題・改善策 | <ol style="list-style-type: none"> 1 小中一貫教育の共通取組み事項「自己有用感の向上」など、全市的な不登校対策を検討するとともに、新たな不登校を生み出さない取組を充実させる。 2 昨年度の研修成果を生かし、初期対応と個に応じた支援の徹底を図り、成果を上げた取組を市内の学校に広める。(6月、11月、2月、計年3回の不登校対策研修会の実施) また、いじめ防止対策研修会を年3回実施し、生徒指導対策の充実を図る。 3 不登校対策嘱託指導主事と不登校対応嘱託指導主事による学校訪問を小学校にも拡大して、定期的に学校訪問を行い、不登校減少のための方策について指導・助言を行っていく。 |

評価委員会の評価・意見等

不登校には初期対応を適確に行い、未然防止に引き続き力を注いでほしい。
不登校傾向及び不登校の子どもへの指導支援と保護者への対応で、好ましい変化や成長を実感できるよう全力を尽くしてほしい。

1 学校教育の充実

| | |
|------------------------|--|
| <p>項 目</p> | <p>③特別支援教育の充実</p> |
| <p>平成29年度 重点目標</p> | <p>1 教職員の資質・指導力の一層の向上を図る。 2 適正な就学・支援を図るための体制の見直しを図る。</p> |
| <p>取組の状況</p> | <p>1 教職員の資質・指導力の向上 教育センター事業の「特別支援教育研修講座」を10回開催し、教職員の資質・指導力の向上を図った。また、特別支援嘱託指導主事を任用し、特別支援教育相談員とともに学校派遣を行い、教職員の資質向上のための実践的な指導・助言を行った。 2 「推進チーム」による特別支援教育の充実と学校支援 適正な就学を図るために、「特別支援教育推進チーム」の組織の見直しや役割分担、就学支援に向けた判断基準や共通書式の改善等について、見直しを行った。また、市発達支援センター、ふれあいの丘支援学校、十日町小学校通級指導教室、市教育センター等関係機関と連携し、専門的な立場から学校を支援することができた。(フォローアップ・巡回相談等)</p> |
| <p>結果・成果</p> | <p>1 教職員の資質・指導力の向上 大学教授や特別支援学校管理職、言語聴覚士等、特別支援教育のプロを講師に要請した研修講座を年10回実施したことや、昨年度、初めて管理職や特別支援教育コーディネーター対象の研修会を設けたことで、特別支援教育に対する各校の理解や指導力向上につなげることができた。また、特別支援教育コーディネーターが校内委員会の中心となり「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を中心となって作成し、取組を推進することができた。 2 「推進チーム」による特別支援教育の充実と学校支援 特別支援教育推進チームとして、就学相談、学校支援、就学支援会議等を行い、情報を共有しながら、適切な支援を行うことができるようになった。</p> |
| <p>課題・改善策</p> | <p>1 教職員の資質・指導力の一層の向上を図るよう研修を充実させるとともに、担任の困り感に応じた支援・指導を行っていく。 2 保護者の適正な就学への理解を図るために、保護者に対して啓発のための取組や相談体制充実に向けた取組を工夫していく必要がある。</p> |

評価委員会の評価・意見等

教育支援員に有用な人材を確保できるよう、抜本的な対策を望む。

2 教育環境の整備推進

| | |
|----------------|--|
| 項 目 | ①子どもたちの「望ましい教育環境」整備の推進 |
| 平成29年度 重点目標 | 「十日町市における望ましい小・中学校のあり方に関する方針」(以下「方針」という。)に基づき、25年度までに検討するとした学校の統合について、地域の理解を得るように努める。 |
| 取組の状況 | <p>貝野小学校は、29年4月に地元検討委員会により、一旦「統合は見送り」との報告を受け、具体的な働きかけは行わなかった。</p> <p>吉田地域は地域課題として協議を継続しており、30年1月に地域からの要請により、小中一貫教育の資料提供と説明を行った。</p> <p>飛渡地域は、「地元として統合の意向はない」としてきたが、統合を希望する考えの保護者もあり、問合せ等に対応した。</p> <p>29年4月1日から、松之山小学校と松之山中学校を統合した、小中一貫校の「まつのやま学園」を開設した。</p> <p>平成31年度からの第2次方針を策定するための、十日町市学区適正化検討委員会要綱を制定し、検討するための準備を行った。</p> <p>また、統合の際、課題となるスクールバスの運行について、平成29年度から運行管理における安全対策の強化を実施した。</p> |
| 結果・成果 | <p>吉田地域は、平成27年に地域住民アンケートを実施するなど自治振興会で小学校統合については課題としており、教育委員会としても引き続き、資料提供や協議に応じている。地域としての意向がまとまりつつある。</p> |
| 課題・改善策 | <p>現在の方針は30年度までの期間としているため、第2次の方針(計画)を30年度中に作成予定である。学区適正化検討委員会の委員を各地域から選任し、第1次方針から10年先を見通しての第2次方針をまとめる。</p> <p>統合に伴う課題として、スクールバス運行の見直しを行う中、地域バスとの調整、スクールバスの台数確保のための財政措置、運行委託先の選考など、全市的な公共交通のシステム構築が必要である。</p> <p>また、統合後の施設利用について、地域要望を考慮しながら、市全体として検討していく必要がある。</p> |

評価委員会の評価・意見等

将来の児童生徒数等を見据えた中で、地域だけでなく就学前児童の保護者にも配慮して、第2次の学区適正化計画作成にあたってほしい。

2 教育環境の整備推進

| | |
|----------------|--|
| 項 目 | ②学校施設耐震化の推進 |
| 平成29年度 重点目標 | 体育館、武道場等における非構造部材の吊天井の耐震化も早期完了に向け事業を推進する。 |
| 取組の状況 | <p>小中学校施設の耐震化推進計画に基づきながら、28年度末で小中学校施設の本体の耐震化率は100%となった。</p> <p>さらに、十日町中学校及び南中学校並びに水沢中学校の武道場等の吊天井の改修工事を実施し、29年度末で吊天井の耐震化率も100%となった。</p> |
| 結果・成果 | 学校施設の本体及び吊天井の耐震化率は100%となり、概ね耐震化推進計画どおりに進んだ。 |
| 課題・改善策 | <p>今後は、安全・安心な学校施設空間のさらなる確保のため、吊天井以外の非構造部材の耐震化対策を的確に進めていく。</p> <p>さらに、学校施設の快適性にも配慮し、トイレの洋式化の改修工事を計画的に実施していく。</p> <p>また、老朽化した学校施設や設備の長寿命化計画を策定し、整備の計画的な実施に向け、その優先順位や財源確保といった問題点の整理を進めたい。</p> |

評価委員会の評価・意見等

非構造部材を含め耐震化は完了し、今後はエアコン設置の方針を検討願う。

3 生涯学習の推進

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|---|------------|--------|------|-----------------------|-----|--------|-------------|--------------|------|------------|------------|------|------------|--------------------|------|
| <p>項 目</p> | <p>①市民文化ホール・中央公民館の建設</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>平成29年度 重点目標</p> | <p>越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館を完成し、開館記念事業を実施する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>取組の状況</p> | <p>1 本体工事、外構工事、取付道路工事の実施。 2 建築備品、舞台備品の選定、納入作業の実施。 3 開館記念式典、記念事業等の実施。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>結果・成果</p> | <p>○工事・建物・施設概要 ・総事業費：39億2,000万円 ・建築工事費：31億8,700万円 ・工事期間：平成27年7月～平成29年9月 ・敷地面積：12,586.49㎡ ・延床面積：5,258.72㎡ ・構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 ・駐車場：225台 ・ホール客席数：708席（1階323席・2階377席・その他8席） ・ステージ：間口17.25m×奥行9.9m×高さ9m（341.11㎡） ・1階：アーティストラウンジ・楽屋(4)・練習室(3)・講堂・調理室・プレイルーム ・2階：ホリ仁・雁木ギャラリー・和室(2)・多目的スペース(3)</p> <p>○開館記念式典・記念事業等</p> <table border="0"> <tr> <td>平成29年11月3日</td> <td>開館記念式典</td> <td>520名</td> </tr> <tr> <td>平成29年11月4日～10日（うち6日間）</td> <td>内覧会</td> <td>3,017名</td> </tr> <tr> <td>平成29年11月30日</td> <td>JAXA宇宙飛行士講演会</td> <td>630名</td> </tr> <tr> <td>平成29年12月9日</td> <td>高嶋ちさ子コンサート</td> <td>695名</td> </tr> <tr> <td>平成30年3月10日</td> <td>オーケストラ・リベラ・クラシック公演</td> <td>657名</td> </tr> </table>  | 平成29年11月3日 | 開館記念式典 | 520名 | 平成29年11月4日～10日（うち6日間） | 内覧会 | 3,017名 | 平成29年11月30日 | JAXA宇宙飛行士講演会 | 630名 | 平成29年12月9日 | 高嶋ちさ子コンサート | 695名 | 平成30年3月10日 | オーケストラ・リベラ・クラシック公演 | 657名 |
| 平成29年11月3日 | 開館記念式典 | 520名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成29年11月4日～10日（うち6日間） | 内覧会 | 3,017名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成29年11月30日 | JAXA宇宙飛行士講演会 | 630名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成29年12月9日 | 高嶋ちさ子コンサート | 695名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成30年3月10日 | オーケストラ・リベラ・クラシック公演 | 657名 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>課題・改善策</p> | <p>旧市民会館ホールでの自主公演（コンサート等）は近年実績がないため、今後の文化ホール運営要領、運営技術の向上に努める。 新施設に対する公民館利用者等の声を傾聴し、より使いやすい施設づくりに努める。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |

評価委員会の評価・意見等

各種の企画を実施しており、ありがたい。今後も利用者増に繋がる積極的な事業展開を望む。

3 生涯学習の推進

| | |
|------------------------|--|
| <p>項 目</p> | <p>②里山科学館としての企画展示・体験イベントの推進（キョロロ）</p> |
| <p>平成29年度 重点目標</p> | <p>この地域の自然・文化等をテーマとした、年2回の企画展や里山体験イベントを実施することで、里山の自然に関する教育普及及び交流人口の増加を目指す。</p> |
| <p>取組の状況</p> | <p>1 企画展・常設展 ① 「にぎやかな田んぼめぐみ 里山のお米展」 (H28. 10. 8～H29. 6. 25) ② 「出張！ 森の学校キョロロ in 十じろう」 (H29. 4. 16～H29. 4. 23) ③ 「里山にいきる 世界のいきものずかん」 (H29. 7. 15～H29. 9. 24) ④ 「クワカブルーム」 (H29. 7. 15～H29. 9. 10) ⑤ 「美人林ものがたり～里山の美しさ ブナの森の秘密～」 (H29. 10. 7～H30. 7. 1) ⑥ 「常設展」 森の水族館、志賀卯助世界の蝶コレクション展 等 2 自然文化体験イベント ① 里山自然観察：里山の生き物探検、夜の昆虫探検、昆虫解剖講座、ホタル観察会、越後田舎体験受入、ブナの森のようちえん ② 市民協働調査：花ごよみ、探鳥会、里山の色探し 等 ③ 文化体験：田植え・稲刈り、若木迎え、十二講 等 ④ ものづくり体験：木工体験、正月飾り作り、ブナのはし作り 等 3 市民講座・学会の充実 「里山学会」「こども里山学会」「市民里山学会」「ミニ講演会」を各1回実施した。</p> |
| <p>結果・成果</p> | <p>入館者数は23,807人で、前年度対比87.1%であった。これは、冬季間における入館者数の減少が一因と考えられる。また、ここ数年来の傾向として、外国人観光客によるスノーシュー体験者、市内外の小中高校や団体から依頼される総合学習支援の機会が、着実に増加している。 これまでのキョロロの活動実績により認知度が向上し、各方面から講師や共同研究の依頼、情報提供の要請が来るようになった。 学校教育の科学分野において、専門的な立場からの指導やフィールドワーク体験の場として求められるケースも増加している。</p> |
| <p>課題・改善策</p> | <p>限られたスタッフの中で、年2回の企画展と毎週のように行われる体験イベントをこなしている。今後は、事業メニューの再検討や理科教育センターとのさらなる連携などについての検証が必要である。</p> |

評価委員会の評価・意見等

他の地域に無い誇れる施設であり、引き続き内容の充実を望む。

4 公民館活動の推進

| 項 目 | ①地域全体で子どもを育てる環境づくりの推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|--|--------|--------|--------|--------|------|--|--------|--------|--------|--------|---------|----|-----|-----|-----|-----|------|-------|-------|--------|-------|---------|------|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|
| 平成29年度 重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 家庭教育支援のための家庭教育学級・親子ふれあい学級の開催 2 学習支援及び社会性醸成のための夏休み寺子屋塾の開催 3 社会で生きる力を培うための通学合宿の開催 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組の状況 | <ol style="list-style-type: none"> 1 はぐくみのまちづくり運動の一環として、家庭教育学級・親子ふれあい学級、青少年体験学習などの各種事業を実施した。 2 夏休み期間中の学習支援や社会性を培うための体験学習を盛り込んだ夏休み寺子屋塾を実施した。 3 家庭を離れて集団で生活することにより社会性を培うため、通学合宿を実施した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 結果・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 幼少年教育事業は、回数・参加者とも減少した。寺子屋塾及び通学合宿は、増加傾向が見られた。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業内容</th> <th>H29 年度</th> <th>H28 年度</th> <th>H27 年度</th> <th>H26 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">幼少年教育事業</td> <td>回数</td> <td>387</td> <td>444</td> <td>445</td> <td>289</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>8,617</td> <td>9,871</td> <td>10,214</td> <td>9,659</td> </tr> <tr> <td>夏休み寺子屋塾</td> <td>参加者数</td> <td>620</td> <td>569</td> <td>324</td> <td>497</td> </tr> <tr> <td>通学合宿</td> <td>参加者数</td> <td>206</td> <td>189</td> <td>187</td> <td>195</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 事業内容 | | H29 年度 | H28 年度 | H27 年度 | H26 年度 | 幼少年教育事業 | 回数 | 387 | 444 | 445 | 289 | 参加者数 | 8,617 | 9,871 | 10,214 | 9,659 | 夏休み寺子屋塾 | 参加者数 | 620 | 569 | 324 | 497 | 通学合宿 | 参加者数 | 206 | 189 | 187 | 195 |
| 事業内容 | | H29 年度 | H28 年度 | H27 年度 | H26 年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 幼少年教育事業 | 回数 | 387 | 444 | 445 | 289 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 参加者数 | 8,617 | 9,871 | 10,214 | 9,659 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 夏休み寺子屋塾 | 参加者数 | 620 | 569 | 324 | 497 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 通学合宿 | 参加者数 | 206 | 189 | 187 | 195 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 課題・改善策 | <ol style="list-style-type: none"> 1 親子ふれあい学級は盛況であるが、対象が就園前児童であり、平成29年度は参加者数が減少した。継続的なフォローを行うために保育園や認定こども園などとの連携を図る必要がある。 2 夏休み寺子屋については、学校や地域などの行事が多い時期であり、日程の調整が難しい。早い時期から各方面と協議しながら計画を立てることで円滑な日程調整を図る。 3 5地区館での通学合宿は、2泊3日（松之山中学生の部は3泊4日）で実施している。通学合宿は、平日（登校日）実施のため、夜間・早朝の協力者確保とアレルギーのある児童への個別的保健対応等が課題となっている。宿泊機能がなく公民館を合宿所とする場合は機能充足対応も課題となる。担当者間で情報共有を行い、安全対策の要件を満たした上での事業の効率化及び省力化の検討を進めた。研修施設や専門スタッフを有する組織への事業委託方式も模索したが、受け入れ可能な団体等は市内にはなかった。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

評価委員会の評価・意見等

例年実施している事業が固定化するのではなく、良い事業は実施を検討してほしい。
学校の教育活動にも有効な、人材バンクの新規登録者の掘り起こしを願う。

5 情報館活動の推進

| | |
|------------------------|--|
| <p>項 目</p> | <p>① 図書館サービスの充実</p> |
| <p>平成29年度 重点目標</p> | <p>1 子どもの読書活動の推進と学校図書館の支援 2 市民の課題解決に資する資料の収集やレファレンスサービスの充実 3 図書館分室活動の充実</p> |
| <p>取組の状況</p> | <p>1 子どもの読書活動推進のためのおはなし会や、学校図書館活性化のための図書委員会サミット・図書館担当者研修会などを開催した。また、子ども読書活動推進計画の進捗を管理する子ども読書活動推進会議も開催した。 2 資料集方針と選書基準に基づき、市民のニーズや課題解決に役立つ資料の収集に努めた。 3 分室の個人貸出冊数を伸ばすため、引き続き資料購入費の優先配分を行うとともに、松之山分室の開館日を増やすための協議を行った。</p> |
| <p>結果・成果</p> | <p>1 おはなし会は3団体で64回開催して延809人の参加があり、7月27日には図書館担当者研修会(31人参加)を、12月1日には図書委員会サミット(65人参加)を開催した。また、子ども読書活動推進会議を9月27日と3月27日に開催し、意見交換を行った。 2 情報館での平成29年度の個人貸出点数を見ると223,242点で、28年度(225,170点)と比べ減少しているが、平成29年度の市民一人当たりの個人貸出点数は、3.50点/人(H28/3.47)となっている。 3 分室の個人貸出点数を見ると、平成29年度の個人貸出点数が64,091点(H28/62,676)で順調に伸びている。また、利用者の利便性を高めるため、松之山分室を平成30年度から毎月第2・4土曜日も開館することとした。</p> |
| <p>課題・改善策</p> | <p>1 学校図書館の支援を強化するためには、学校司書の確保が必要である。周辺状況を調査し、予算要求に結び付けていく。 2 レファレンスサービスのさらなる周知が必要である。カウンターでのPRも含め効果的な方法を探る。 3 分室の状況を考慮し、選書やテーマ決定を行ってきたが、分室間の差が縮まらない。現対応策を粘り強く継続する。</p> |

評価委員会の評価・意見等

学校との連携や各分室の利用では地域住民に配慮した活動になっており、人的体制の課題もあるが引き続き事業の推進を願う。

6 文化財の保護と活用

| | |
|----------------|---|
| 項 目 | ①埋蔵文化財の保護と活用 |
| 平成29年度 重点目標 | 1 埋蔵文化財調査と出土資料の整理、データ蓄積、発掘調査報告書の編集及び刊行 2 火焰の都整備事業の推進 |
| 取組の状況 | 1 各種開発行為に伴う発掘調査では、確認調査2件、試掘調査15件を実施した。発掘調査報告書の刊行では、野首遺跡（平成8年調査）、県からの委託事業である貝野沖遺跡、貝野沢田遺跡、おごか清水遺跡、原遺跡の出土資料整理と報告書編集作業を行っている。 2 笹山遺跡の史跡公園整備では、笹山じょうもん市支援のほか、各種のイベントを実施した。また、案内看板修繕などを行った。 |
| 結果・成果 | 1 限られた時間の中で各種開発行為に対して適切に事前調査を行い、所期の目的を達成できた。また、平成21年より保存目的で範囲確認調査を行って来た田沢遺跡（縄文時代草創期）の発掘調査報告書を刊行した。なお、本報告書に収録された出土品152点が、新たに市指定文化財に指定された。この他に、『原遺跡発掘調査報告書』、『おごか清水遺跡発掘調査報告書Ⅱ』、『平成29年度十日町市内遺跡試掘・確認調査報告書』を刊行した。 2 笹山遺跡では、ボランティアの協力を得て、笹山縄文カレッジ（古代糸作り・土器作りなど、6～12月）、ささやまラボ（2・3月）を実施し、市内外からの参加者があった。 |
| 課題・改善策 | 発掘調査が計画通り進む一方で、出土資料の整理が遅れており、積み残された未刊行の発掘調査報告書を継続的に刊行していかなければならない状況である。長期的な刊行計画を策定した上で、継続的に整理作業を行う人員体制を整える必要がある。 また、作業を効率的に行うため、出土資料の図化や図版の編集作業などについて、専門業者による作業委託を積極的に活用する。 笹山遺跡の史跡整備は、中条地区振興会をはじめ関係者の協力を得て用地買収を進めると共に、NPO法人や関連団体と連携しながら、国宝出土地ならではの普及活用事業や情報発信事業を展開する。 |

評価委員会の評価・意見等

発掘調査報告書には膨大な資料をまとめることから、業者を活用し引き続き事業を推進されたい。

6 文化財の保護と活用

| | |
|----------------|---|
| 項 目 | ②地域文化財の保護と活用 |
| 平成29年度 重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 十日町市歴史文化基本構想の策定 2 指定文化財の保存及び継承の推進 3 地域歴史資料の保存及び活用の推進 |
| 取組の状況 | <ol style="list-style-type: none"> 1 地域の文化財を指定未指定に関わらず総合的に保存・活用していくため、「十日町市歴史文化基本構想」を1月に策定した。 2 市指定文化財を新たに1件指定するとともに、国・県を含む指定文化財の維持管理や保存修理及び無形文化財の継承者に対して支援した。 3 古文書・古写真等の歴史資料を収集・保存し、整理作業及び各種活用事業を行った。 |
| 結果・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 歴史文化構想策定のため、昨年に引き続き文献調査を実施した。天然記念物・板碑・城跡・風俗慣習など、指定・未指定文化財83件の現況調査を行うとともに、文化財台帳を整備した。また、策定委員会と、専門部会を各3回、庁内WG会議を1回開催し、パブリックコメントを実施して構想を取りまとめ、策定した。策定事業の周知のため、7月に「歴史文化シンポジウム」を開催し、100人の参加があった。3月には構想策定を記念して国井雅比古氏（元NHKエグゼクティブアナウンサー）の講演会を開催し、350人の参加があった。情報発信のため、構想冊子、構想概要版パンフレット、資料集、文化財地図を作成し、関係各所に配布した。 2 市指定文化財として「田沢遺跡出土品152点」を指定し、29年度末で市指定文化財は114件となった。指定文化財の維持管理及び保存修理に対する補助金を45件、市指定無形文化財の伝承保存活動に対する補助金を12件交付した。 3 寄贈又は寄託を受けた古文書及び古写真について資料カードを作成し、データベース化した。松之山地区の古文書資料約1,942点を掲載した「歴史資料目録15」を刊行した。また、9月に「第9回山内写真館資料写真展」を開催した。 |
| 課題・改善策 | <p>「十日町市歴史文化基本構想」策定事業により、地域の歴史文化に関心を持ち、再評価する動きが少しずつ出始めている。文化財を確実に保存して次世代に継承し、地域活性化に向けて活用していくため、構想の周知に努めるとともに、構想を活用していくための施策を検討・実施していく必要がある。</p> |

評価委員会の評価・意見等

引き続き事業を推進されたい。

7 博物館事業の推進

| | |
|----------------|---|
| 項 目 | ①博物館の建設と活用 |
| 平成29年度 重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 新博物館を平成32年度に開館 2 縄文文化の市内外への発信 3 学校教育における博物館活用の推進 |
| 取組の状況 | <ol style="list-style-type: none"> 1 実施設計が平成29年6月末で完了した。入札で施工業者を選定し、9月に建設工事に着手した。建物の建設工事は平成29年度と平成30年度の2ヵ年継続工事である。 2 京都国立博物館「国宝」展へ国宝・火焰型土器No.1の16年ぶりの館外出品をはじめ、大手企業との共同企画が実現するなど、縄文文化を全国に向けて発信することができた。また、平成28年度に東京国立博物館との共同研究で実施した3次元計測のデータを使用して、実物とほぼ同じ大きさ・重量の高精細レプリカを作成した。 3 学校現場からの要請により、縄文や昔の道具などの展示解説を行った。こども博物館は、縄文体験学習を行った。信濃川火焰街道博学連携プロジェクトでは縄文を総合学習のテーマとし長岡市・小千谷市・十日町市・南魚沼市の小学生が学習した。その他、大学生の博物館実習、中学生の職場体験実習も受入れている。 |
| 結果・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 建築と展示設計を共同企業体として委託した結果、複雑な調整を少なくすることで、計画どおりに完成が可能となった。 2 京都国立博物館の「国宝」展には62万人を超える入館者があり、縄文文化を全国に広く情報発信することができた。また、国宝の高精細レプリカは、新博物館の展示や普及活動などに活用できる。 3 小学校では市内14校、市外11校、中学校では市内3校の来館。こども博物館は3回27名、博学連携プロジェクトは市内外で161名の児童が参加。博物館実習は3校5名、職場体験は4校5名が参加。 |
| 課題・改善策 | <p>新博物館における導入展示室の位置付け、各展示室の演出方法、多言語対応を含む展示解説のあり方などについて、専門家より指導を受けている。新博物館開館に向け、更なる検討が必要である。</p> <p>縄文文化の発信事業は、庁内の関係課との連携強化はもちろんであるが、各種関連グッズの開発やイベントの開催など、今後は市民及び地元民間企業・団体との協働で進める必要がある。</p> <p>小中学校の博物館利用は授業での見学以外に、出前事業や教員向け研修なども積極的に取り組みたい。</p> |

評価委員会の評価・意見等

中学校の来館が少ないが、新博物館建築と合わせて、国内及び海外で広く情報発信しながら多様な活動を展開されている。

7 博物館事業の推進

| | |
|----------------|---|
| 項 目 | ②博物館収蔵資料の保存と活用 |
| 平成29年度 重点目標 | 1 広域連携を踏まえた教育普及活動の充実 2 博物館収蔵資料の整理・調査・研究・活用 |
| 取組の状況 | 1 教育普及事業として博物館講座、古文書入門講座、子ども博物館、展示事業として夏季企画展、秋季特別展、ロビー特設展示、移動展、分じろう・まちの文化歴史コーナー展示を実施した。 また、雪文化三館提携25周年事業（十日町市博物館・鈴木牧之記念館・トミオカホワイト美術館）として、それぞれの館の資料を相互貸借する形でロビー特設展示を実施した。 2 市民から資料を収集した。また、川西文化財資料収蔵庫において、収蔵資料（一部）の燻蒸を実施した。 |
| 結果・成果 | 1 博物館講座「郷土の遺産VI 雪」（全3回） 受講者 計83名 古文書入門講座（全17回） 延べ受講者 計153名 夏季企画展「野首遺跡出土品のすべて」 観覧者 計2,878名 秋季特別展「動物の意匠」 観覧者 計2,028名 ロビー特設展示（全4回） 新潟県埋蔵文化財センター巡回展「縄文の造形美－六反田南遺跡－」展・昔の道具展他 移動展「十日町のきもの歴史展」（十じろう）、「野首遺跡出土品展」（下条中学校） まちの文化歴史コーナー展示（全8回） 国宝火焰型土器No.5他 雪文化三館スタンプラリー（割引券付き） 利用者 計237名 2 市民よりイットマス、古文書等、計21件の資料の寄贈を受けた。 また、一部であるが、古文書を含む館蔵資料を燻蒸したことにより、市民からの寄贈資料を病害虫被害から守ることができた。 |
| 課題・改善策 | 博物館講座は市民のニーズに合ったテーマと企画の設定が必要で広い視野で検討したい。企画展・特別展では館蔵資料と学芸員の調査と研究に裏打ちされた成果を最大限に活用しなければならない。 分じろう・まちの文化歴史コーナー展示は、市の文化遺産を情報発信する施設として展示内容の充実とPRが必要である。年々増加する資料に対する館外収蔵スペースの確保や施設の老朽化に伴い収蔵庫環境が悪化、資料の定期的な点検と燻蒸など課題が多い。さらに、新博物館の収蔵庫に移動する重文・越後縮の紡織用具と積雪期用具の点検作業や移動計画が急務である。 |

評価委員会の評価・意見等

引き続き事業を推進されたい。

8. スポーツの振興

| | | | | |
|---------------------|--|--------------|---------|---------|
| 項 目 | (1)スポーツ振興事業の推進 ①身近な地域におけるスポーツ振興事業とスポーツ交流の推進 | | | |
| 平成29年度 重点目標 | 総合型スポーツクラブやスポーツ推進委員と連携し、各地域における生涯スポーツの推進を図り、スポーツ交流事業を推進する。 | | | |
| 取組の状況 | <p>1 総合型地域スポーツクラブによるスポーツ教室等の実施 市民が気軽に参加できる教室や講習会などを実施した。</p> <p>2 各地域におけるスポーツ大会や教室等の実施 スポーツ推進委員を派遣し各種スポーツ大会や教室、高齢者向けのスポーツ教室などを行った。</p> <p>3 スポーツ交流の推進 スポーツを通じた交流人口の拡大を図るため、全日本スキー選手権大会の開催などスポーツ交流事業の実施を行った。</p> | | | |
| 結果・成果 | 1 総合型地域スポーツクラブの活動実績 | | | |
| | クラブ名 | 教室・イベント参加延人数 | | |
| | ネージュスポーツ クラブ | 29年度 | 28年度 | 27年度 |
| | | 18,591人 | 19,328人 | 20,809人 |
| | 2 各地域のスポーツ大会や教室開催実績（十日町市全域） | | | |
| スポーツ大会・教室名 | 参加延人数 | | | |
| | 29年度 | 28年度 | 27年度 | |
| 市民スポーツ大会（夏） | 1,618人 | 1,273人 | 1,780人 | |
| 市民スポーツ大会（冬） | 783人 | 766人 | 840人 | |
| 河岸段丘ウォーク | 2,713人 | 2,541人 | 2,744人 | |
| 計 | 5,114人 | 4,580人 | 5,364人 | |
| 3 市内体育施設のスポーツ合宿利用者数 | | | | |
| 年度別 | 29年度 | 28年度 | 27年度 | |
| 実施回数 | 10,396人 | 8,876人 | 11,876人 | |
| 課題・改善策 | <p>1 総合型地域スポーツクラブの育成 クラブとして、生涯スポーツを推進していくにあたり、幼児から高齢者まで各世代向け教室を展開し、継続実施していけるよう指導、協力を行う。</p> <p>2 スポーツ推進委員の資質の向上 総合型地域スポーツクラブと連携を図り、さらなる生涯スポーツ推進を行う。</p> <p>3 スポーツ交流の推進 市内スポーツ施設を活用し、キャンプ誘致のほか、全国規模のスポーツ大会の開催、ホストタウン事業の取組みによる2020年東京オリパラ事前合宿の受け入れを行う。</p> | | | |

評価委員会の評価・意見等

引き続き事業を推進されたい。

8 スポーツの振興

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|---|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| <p>項 目</p> | <p>(1) スポーツ振興事業の推進 ②競技力向上のための外部指導者の活用と競技団体指導者育成</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>平成29年度 重点目標</p> | <p>市内中学校の部活動に外部指導者を派遣するほかに、競技団体において指導者を対象に研修会を実施し、指導者の資質向上に努める。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>取組の状況</p> | <p>1 部活動の外部指導者（スポーツエキスパート）の派遣 市内10中学校の6競技種目に12人の指導者を派遣した。 2 競技団体における指導者の資質向上のため研修会の実施 陸上、スキー競技7団体において、指導者の資質向上及び選手の意識啓発を図るため、コーチ、スポーツ医科学指導者等による指導者研修を実施した。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>結果・成果</p> | <p>1 外部指導者の派遣実績</p> <table border="1" data-bbox="477 920 1295 1008"> <tr> <td>年度別</td> <td>29年度</td> <td>28年度</td> <td>27年度</td> </tr> <tr> <td>派遣回数</td> <td>392回</td> <td>378回</td> <td>515回</td> </tr> </table> <p>2 指導者育成のための研修会の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="477 1093 1295 1180"> <tr> <td>年度別</td> <td>29年度</td> <td>28年度</td> <td>27年度</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>15回</td> <td>14回</td> <td>13回</td> </tr> </table> <p>※小中学生の北信越・全国・国際大会出場人数</p> <table border="1" data-bbox="477 1263 1295 1350"> <tr> <td>年度別</td> <td>29年度</td> <td>28年度</td> <td>27年度</td> </tr> <tr> <td>出場人数</td> <td>129人</td> <td>125人</td> <td>108人</td> </tr> </table> | 年度別 | 29年度 | 28年度 | 27年度 | 派遣回数 | 392回 | 378回 | 515回 | 年度別 | 29年度 | 28年度 | 27年度 | 実施回数 | 15回 | 14回 | 13回 | 年度別 | 29年度 | 28年度 | 27年度 | 出場人数 | 129人 | 125人 | 108人 |
| 年度別 | 29年度 | 28年度 | 27年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 派遣回数 | 392回 | 378回 | 515回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度別 | 29年度 | 28年度 | 27年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 15回 | 14回 | 13回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度別 | 29年度 | 28年度 | 27年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 出場人数 | 129人 | 125人 | 108人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>課題・改善策</p> | <p>1 外部指導者の活用の継続 教員の異動や減少に伴い、多くの種目に教員の専門的な指導者を配置することが困難となっている。競技力を向上させるためにも、引き続き学校外部から専門的な指導者を招き、運動部活動の支援を継続したい。</p> <p>2 指導者育成のための研修会の継続 新たな指導者の育成や資質の向上が必要となっている。引き続き各競技団体において、優秀な指導者の確保に努めたい。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

評価委員会の評価・意見等

教員の多忙化解消という課題もあり、中学校では外部指導者の派遣が重要になる。指導者の確保を図り、引き続き事業を推進されたい。

8 スポーツの振興

| 項 目 | (2) スポーツ施設の管理と整備 スポーツ施設の効果的な管理・運営・整備 | | | | | | | | |
|----------------|--|----------|----------|------|------|------|----------|----------|----------|
| 平成29年度 重点目標 | 指定管理者制度による民間活力を用い、施設の有効かつ適切な管理運営に努めるほか、利便性向上のための施設整備及び改修を行う。 | | | | | | | | |
| 取組の状況 | 指定管理者制度により十日町、中里地域の11施設をNPO法人ネージュスポーツクラブに、川西地域の3施設をNPO法人ほほえみに委託し、管理を行った。 施設の改修では、吉田クロスカントリー競技場のコース改良工事や吉田ふれあいスポーツセンターの屋根塗装工事等を行った。 | | | | | | | | |
| 結果・成果 | <p>昨年と比べて、改修工事等による施設の未利用期間が少なかったことに加え、改修工事により利便性が上がったことから、体育施設利用者数が増加した。</p> <p>体育施設の年間利用者の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度別</th> <th>29年度</th> <th>28年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>410,608人</td> <td>405,582人</td> <td>406,511人</td> </tr> </tbody> </table> | 年度別 | 29年度 | 28年度 | 27年度 | 利用者数 | 410,608人 | 405,582人 | 406,511人 |
| 年度別 | 29年度 | 28年度 | 27年度 | | | | | | |
| 利用者数 | 410,608人 | 405,582人 | 406,511人 | | | | | | |
| 課題・改善策 | <p>指定管理者制度を活用し、スポーツ施設の利用者の多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上を図るとともに、経費の縮減等を図る必要がある。引続き松代地域、松之山地域や直営で管理しているスポーツ施設への導入を検討していく。</p> <p>しかし、指定管理者制度へ移行する課題として、施設規模が小さく指定管理者の利用収入が見込めないこと、利用収入が増えたとしても指定管理委託料が削減される傾向から指定管理者の利益に繋がらないなど、指定管理事業者を取り巻く状況が厳しくなっている。</p> <p>また、多くの施設が築30年を経過し、改修が必要となっている。中には利用頻度の少ない施設もあり、地元関係者と協議を進め、利用状況や地域性の両面を検討し、既存施設の統廃合を含め、計画的に施設の改修・整備及び備品の更新などを行う。</p> | | | | | | | | |

評価委員会の評価・意見等

利用が少ない施設について、維持管理の見直しを検討願う。

9 教育委員会の活動

| | | |
|----------------|-------|------------------------|
| 教育長 | 蔵品泰治 | (任期：27年5月18日～30年5月17日) |
| 教育委員（教育長職務代理者） | 山口由美子 | (任期：26年5月18日～30年5月17日) |
| 教育委員 | 吉楽隆一 | (任期：28年5月18日～32年5月17日) |
| 教育委員 | 庭野三省 | (任期：29年5月18日～31年5月17日) |
| 教育委員（保護者委員） | 佐藤美佐子 | (任期：29年5月18日～33年5月17日) |

※29年5月18日現在

① 教育委員会の開催

4月定例会（29年4月27日）

報告事項のみ

5月定例会（29年5月30日）

議案 ・平成29年市議会第2回定例会提出補正予算案の承認について
・越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館開館記念事業補助金交付要綱の制定について

6月臨時会（29年6月12日）

報告事項のみ

6月定例会（29年6月27日）

議案 ・越後妻有文化ホール運営協議会要綱の制定について

7月定例会（29年7月25日）

議案 ・平成30年度小学校教科用図書採択について

8月定例会（29年8月29日）

議案 ・平成29年市議会第3回定例会提出補正予算案の承認について

9月定例会（29年9月21日）

議案 ・十日町市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則制定について

10月定例会（29年10月31日）

報告事項のみ

11月定例会（29年11月30日）

- 議案
- ・平成29年市議会第4回定例会提出補正予算案の承認について
 - ・十日町市奨学金等貸与条例の一部を改正する条例案の承認について
 - ・十日町市立学校教員住宅管理使用規程の一部を改正する訓令制定について
 - ・平成29年度（平成28年度実績）十日町市教育委員会事務の管理・執行状況点検・評価報告書の承認について

12月定例会（29年12月22日）

- 議案
- ・学校給食用食材の放射性物質検査の廃止について

1月定例会（30年1月29日）

- 議案
- ・十日町市建設基金条例の一部を改正する条例案の承認について
 - ・十日町市奨学金等貸与条例の一部を改正する条例案の承認について
 - ・十日町市立学校教員住宅管理使用規程の一部を改正する訓令制定について
 - ・平成29年度（平成29年度実績）十日町市教育委員会事務の管理・執行状況点検・評価報告書の承認について

2月定例会（30年2月26日）

- 議案
- ・平成30年市議会第1回定例会提出補正予算案の承認について
 - ・平成30年市議会第1回定例会提出平成30年度当初予算案の承認について
 - ・十日町市学区適正化検討委員会要綱の制定について
 - ・平成30年度学校管理職人事異動に関する承認について

3月臨時会（30年3月14日）

- 議案
- ・平成30年市議会第1回定例会提出議案の承認について
 - ・十日町市教育委員会職員人事異動の内示について

3月定例会（30年3月29日）

- 議案
- ・十日町市小中一貫教育実施計画の策定について
 - ・十日町市立学校学校給食費の会計処理に関する規則を廃止する規則制定について
 - ・十日町市学校給食費徴収規則制定について
 - ・十日町市公民館条例施行規則の一部を改正する規則制定について
 - ・十日町市指定文化財の指定について
 - ・十日町市学校管理運営に関する規則の一部を改正する規則制定について
 - ・十日町市中学校部活動指導員設置事業設置規則の制定について

※教育委員会会議録は、十日町市ホームページで公表

② その他の活動

- 29年 4月 1日 教職員辞令交付式
- 29年 5月 3日 十日町市成人式
- 29年 5月 26日 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会（神奈川県）
- 29年 7月 21日 新潟県市町村教育委員会連合会定期総会（十日町市）
- 30年 2月 2日 学校視察（吉田中、吉田小、鑑島小）
- 30年 2月 13日 学校視察（水沢中学校、水沢小学校、馬場小学校、中里中学校、田沢小学校、貝野小学校）
- 30年 3月 5日 中学校卒業式
- 30年 3月 23日 小学校卒業式

資料

<事務の点検・評価について>

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政の基本方針のもと、教育長、事務局が教育行政事務を執行するものである。

このため、事前に教育委員会が立てた基本方針にそって具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後チェックすること、また、教育委員会が地域住民に対する説明責任を果たし教育活動を充実することが求められている。

このようなことから、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下、「地教行法」という。）」の一部を改正する法律が平成 19 年 6 月に公布され、平成 20 年度から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理・執行について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない（地教行法第 26 条第 1 項）ことになった。

<十日町市教育委員会事務評価委員名簿>

| 職名 | 氏名 | 備考 |
|------|------|-------------|
| 委員長 | 尾身辰二 | 元十日町小学校長 |
| 副委員長 | 佐藤幸雄 | 社会教育委員 |
| 委員 | 林実和子 | スポーツ推進審議会委員 |
| 委員 | 村山潤 | 副市長 |

※任期 平成 30 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日

<委員会開催>

| 回数 | 年月日 | 内容 |
|-------|------------------|---------------------|
| 第 1 回 | 平成 30 年 7 月 25 日 | 教育委員会各課の事業について点検・評価 |
| 第 2 回 | 平成 30 年 8 月 9 日 | 点検・評価報告書とりまとめ |